

## 現代短歌における二重表記の役割 ー日本語学の見地からー

### 清水恵理

日本語表記の特徴の一つに多様な二重表記があり、近年では「<sup>トランプ</sup>兵隊」「<sup>ベストセラー</sup>啓発本」のように本文である主表記と、振り仮名である副表記に意味の異なりがある使用例が、文芸作品を中心に使用されている。特に音数上の制約を強く受けるという特徴から、現代短歌の二重表記には工夫が見られる。そこで本研究では、パッケージ化された 64 冊の個人歌集から用例収集・分類を行い二重表記の機能を整理し、その特徴を明らかにすることを目的とした。本研究独自に設定した分類を以下に示す。

**現代短歌の二重表記分類** (<>内に下位分類・例を示す) (1)限定：二種以上の読みを持つ主表記の読みを限定する。  
 <1-1 限定：一日ひとひ、1-2 記号：＝<sup>イコール</sup>> (2)翻訳：和語英訳等を示す。<2-1 翻訳：修道女シスター> (3)代名詞：副表記に代名詞を用いて主表記を指す。<3-1 人称：妹きみ、3-2 場所：礼拝堂こ> (4)説明：主表記に具体性を持たせ副表記を説明する。<4-1 要素：車窓まど、4-2 概念：時代とき、4-3 略語：紋白蝶もんしろ、4-4 オノマトペ：赤ちゃんべっちゃん> (5)相補：異なる語が相互にイメージを補い合う。<5-1 相補：<sup>ベストセラー</sup>啓発本、5-2 修飾：男おとこ> (6)比喻：「(主表記)のような(副表記)」の語関係を示す。<6-1 比喻：惑星まなこ> (7)包摂：より大きな概念で一方を示す。<7-1 包摂：蛭なつむし>以上7分類である。本調査では分類に該当する二重表記 426 例を収集した。内(1)限定から(4)説明の分類については、先行研究で論じられており、本調査収集例の 90%以上が該当するため安定的な二重表記と言える。一方、(5)相補から(7)包摂はこれまでの研究においてあまり扱われていない分類で、比較的新しい二重表記と言える。作者別にみると安定的な二重表記の使用に作者性差があまり見られなかったのに対し、(5)相補から(7)包摂の使用は男性 9 名 (15 例)、女性 3 名 (6 例) と男性が多く使用している。特に(5)相補についてはより男性の使用が顕著である。そのため現代短歌で見られる(5)相補のような比較的新しい二重表記の使用は、男性歌人によって牽引されていると言える。